

海軍公報號外

昭和三年十一月二十七日(火)
海軍大臣官房

○通牒

官房第三九七七號

昭和三年十一月二十七日

海軍省副官

在京各廳御中

大正天皇山陵親謁ノ爲行(還)幸ノ節奉

送迎ニ關スル件

大正天皇山陵親謁ノ爲來十一月二十九日午前九時五十分原宿驛御發車多摩陵へ行幸行啓、同日午後一時四十分原宿驛御著車還幸還啓被爲在ニ付當日奉送迎ニ關シ別紙ノ通東京府ヨリ告示有之候條御了知相成度右依命申進ス

追テ高等官以下ノ陸海軍高等武官ハ右告示ニ據ルノ外左記ニ據リ奉送迎方差支ナキ儀ニ付爲念申添候

記

海軍公報號外

一、奉送迎位置

行幸行啓ノ節 神宮橋東方表參道上北側
還幸還啓ノ節 神宮橋東方表參道上南側
(附圖參照)

二、參集時刻

行幸行啓ノ節 午前九時二十分迄
還幸還啓ノ節 午後一時十五分迄

三、服 裝 正裝

(別紙)

東京府告示第六百四十四號
本月二十九日 大正天皇山陵ニ御親謁ノ儀ノ節、原宿驛北部乘降場及東淺川驛ニ於ケル奉送迎諸員心得左ノ通定ム

昭和三年十一月二十四日

東京府知事 平塚 廣義

原宿驛

第一 奉送迎者中大勳位以下勳一等以上ノ者及同夫人

ニ關シテハ停車場内ニ限リ大禮使ニ於テ取扱フヘキニ付參入ノ際ハ受付ニテ名刺ヲ差出サレタシ其ノ車輛標章、參入順路及參集時刻ハ次ノ如シ

(一) 車輛標章

奉送迎者ハ交通遮斷線通過ノタメ乗用車ニ青色ノ紙片ヲ附セラレタシ

(二) 參入順路

交通遮斷線外ハ隨意ナルモ明治神宮裏參道ヨリ徳川公爵邸前ヲ經テ八幡神社横ヨリ原宿驛北部乗降場ニ參着セラレタシ

(三) 參集時刻

イ、大正天皇山陵ニ行幸ノ際ハ午前八時三十分迄トス

ロ、還幸ノ際ハ午後零時四十分迄トス

第二 奉送迎者中高等官一等以下ノ者ニ關シテハ東京府ニ於テ取扱フヘキニ付參入ノ際ハ資格ヲ明カニシタル名刺ヲ受付ヘ差出サレタシ

其ノ奉送迎位置、參入順路、車輛標章及參集時刻ハ次ノ如シ

(一) 奉送迎位置
原宿驛北部乗降場前道路向ツテ右側トス

(二) 參入順路

奉送迎者ハ可成省線ニヨリ原宿驛ニ下車シ奉送迎位置ヘ參着セラレタシ

車馬ニテ參着ノ者ハ明治神宮裏參道ヨリ神宮境内車馬道ヲ經テ表參道神宮橋ニ至リ下車シ奉送迎位置ヘ參集セラレタシ

置ヘ參集セラレタシ

(三) 車輛標章

奉送迎者ハ交通遮斷線通過ノタメ左ノ標章ヲ附セラレタシ

イ、自動車ハ運轉臺前面ガラスノ中央ニ「奉送」又ハ「奉迎」ノ文字ヲ記シタル紙片ヲ貼付スルコト

ロ、馬車ハ馱車ノ左腕ニ黃色ノ腕章ヲ附スコト

ハ、人力車ハ黃色ノ布片ヲ左右何レカ一方ノ梶棒ニ縛リ附クルコト

(四) 參集時刻

イ、大正天皇山陵ニ行幸ノ際ハ午前八時三十分迄トス

ロ、還幸ノ際ハ午後零時四十分迄トス

備考
當日市内御道筋以南ヨリ明治神宮裏參道方面ニ至ル指定横斷線次ノ如シ

○疾行車指定横断線
日比谷公園正門前ヨリ電車道ニ沿ヒ參謀本部前ニ至ル道路

○一般指定横断線
イ、東京區裁判所前ヨリ海軍省横ヲ經テ永田町ニ至ル道路

ロ、赤坂區榎坂町葵町方面ヨリ葵橋ヲ經テ首相官邸前ニ至ル道路

ハ、赤坂區田町方面ヨリ官幣大社日枝神社前ヲ經テ首相官邸前ニ至ル道路

ニ、歩兵第三聯隊横ヨリ赤坂區役所前青山御所横ヲ經テ紀伊國坂ニ至ル道路

ホ、乃木坂ヨリ電車道ニ沿ヒ青山一丁目ヲ經テ權田原ニ至ル道路

ヘ、青山墓地側ヨリ青山四丁目ヲ經テ北原宿ニ至ル道路

ト、澁谷方面ヨリ上澁谷山手線下ヲ隨ケ表參道ヲ經テ池田侯爵邸前ニ至ル道路

奉送迎差許サルヘキ者ノ範圍及服裝ハ本年九月二十二日官報大禮使彙報第五百六十五頁參照アリタシ

東淺川驛

海軍公報 號外

奉送迎者中大勳位以下勳一等級以上ノ者及同夫人ニ關シテハ停車場内ニ限リ大禮使ニ於テ取扱ヒ高等官一等級以下ノ者ニ關シテハ東京府ニ於テ取扱フヘキニ付參入ノ際ハ受付ニ於テ其ノ資格ヲ明ニシタル名刺ヲ差出サレタシ

其ノ參入順路、車輛標章、參集時刻及高等官一等級以下ノ奉送迎位置次ノ如シ

(一) 參入順路及車輛標章

交通遮断線外ハ隨意ナルモ國道(甲州街道)ニヨリ停車場ニ參着セラレタシ

車馬ニテ參入スル者ハ左ノ標章ヲ附セラレタシ

イ、自動車ハ運轉臺前面ガラスノ中央ニ「奉迎」又ハ「奉送」ノ文字ヲ記シタル紙片ヲ貼付スルコト

ロ、馬車ハ馭車ノ左腕ニ黃色ノ腕章ヲ附スルコト

ハ、人力車ハ黃色ノ布片ヲ左右何レカ一方ノ梶棒ニ縛リ附クルコト

(二) 參集時刻

奉迎ノ際ハ午前九時三十分迄トス

奉送ノ際ハ午前十一時三十分迄トス

(三) 高等官一等級以下ノ奉送迎位置

東淺川驛構内前面廣場向ツテ右側トス

2029

備考

奉送迎差許サルヘキ者ノ範圍及服裝ハ本年九月二十
二日官報大禮使彙報第五百六十五頁參照アリタシ

海軍公報號外

昭和三年十一月二十七日(火)
海軍大臣官房

○ 令 達

官房第三九七八號

大禮特別觀艦式ノ際ニ於ケル諸掛員左ノ通定ム其ノ服務ニ關シテハ聯合艦隊司令長官竝ニ大禮特別觀艦式事務委員長ノ指揮ヲ受クベシ

昭和三年十一月二十七日

皇 族 掛

(雍仁親王)	海軍中佐	藤 森 清 一 朗	(軍令部)
(宣仁親王)	同	山 田 滿	(艦政本部)
(載仁親王)	海軍少佐	松 永 次 郎	(軍令部)
(春仁王)	同	清 宮 弘	(人事局)
(博恭王)	同	加 賀 屋 要 吉	(軍令部)
(博義王)	同	酒 井 武 雄	(同)
(茂曆王)	同	八 島 俊 一	(航空本部)
(恒憲王)	同	竹 中 龍 造	(同)
(邦彦王)	同	岸 福 治	(軍令部)

海軍公報 號外

榛名	金剛	所在	外國艦船及武官掛
同上	同上	(賜餐艦 乘艦名)	
海軍大尉 眞田雄二(伊) 海軍中佐 細谷義男(蘭) 海軍少佐 井澤徹(佛) 海軍大尉 湊慶讓(英) 海軍少佐 水野恭介(米) 海軍大尉 洪泰夫(般)	海軍少佐 酒卷宗孝(米) 同 山口多聞(英) 同 岡敬純(佛) 海軍大尉 三上射鹿(蘭) 海軍少佐 大谷雄介(伊)	接 伴 掛	(朝融王) (多嘉王) (守正王) (鳩彦王) (稔彦王) (李王根) (李王根) (李王根)
海軍編修書記 深澤理三郎(同) 同 田村安二郎(同) 囑託 柏木新吾(軍令)	海軍編修書記 金矢勉二(軍令) 同 村田太(同)	接 伴 掛 附	同 同 同 同 同 同 水野知彦(艦政本部) 伊藤賢三(軍令部) 寺岡謙平(同) 小住德三郎(人事局) 野村亮吉(同) 澤田虎夫(艦政本部) 山田道行(航空本部)

接 伴 掛	磬 手	金 剛	新 聞 記 者 掛
	同 附 磬 手	同 上	
接 伴 掛	海軍少佐 松田平重 海軍大尉 澄川道男 (磬手士官室 士官二)	海軍少佐 大島乾四郎 海軍大尉 平井昌平 (金剛士官室 士官二)	海軍中佐 簗妻準二 同 關根郡平 海軍大尉 中瀬 洋 (波) (同) (軍令)
同 上	海軍大佐 小横和輔 海軍中佐 山崎實 海軍少佐 金澤正夫 同 柳原新夫 海軍機關中佐 山口博光 海軍機關少佐 山崎眞澄 海軍主計中佐 加納金三郎 (外三榛名士官 六)	海軍編修書記 中川淳造 同 中島敏成 海軍編修書記 飛永賢三 海軍 屬 住山長平 海軍 屬 淺草末吉	海軍 屬 小野房次郎 同 細田勝治 海軍書記 淺田久三郎

赤城	磐手	比叡	金剛
同上	同上	同上	同上
海軍中佐 桑原 虎雄 (外ニ赤城士官六)	海軍中佐 河野 千城 (外ニ磐手士官五)	海軍中佐 角田 貞雄 (外ニ比叡士官六)	海軍大佐 福島 貫三 (外ニ金剛士官六)
海軍中佐 山田 忠治 (空本)	海軍少佐 河野 千城 (軍令)	海軍少佐 福留 繁 (人事)	海軍中佐 副島 大助 (教育)
海軍少佐 桑原 虎雄 (同)	海軍機關少佐 平田 周二 (艦本)	海軍主計少佐 山口 一 (艦本)	海軍主計少佐 爲本 博篤 (經理)
海軍書記 川杉 興吉 (空本)	海軍書記 村上 廣忠 (同)	海軍書記 西信 二郎 (艦本)	海軍書記 佐藤 孝一 (同)
海軍屬 坂井 宗茂 (經理)	海軍屬 石合 猪三郎 (教育)	海軍屬 丸岡 克己 (人事)	海軍屬 森田 勇介 (教育)
海軍書記 上田 信七 (同)	海軍屬 村上 廣忠 (同)	海軍屬 岩崎 太郎 (軍務)	海軍書記 川村 孝 (艦本)
海軍書記 上田 信七 (同)	海軍屬 村上 廣忠 (同)	海軍屬 岩崎 太郎 (軍務)	海軍書記 川村 孝 (艦本)
海軍書記 上田 信七 (同)	海軍屬 村上 廣忠 (同)	海軍屬 岩崎 太郎 (軍務)	海軍書記 川村 孝 (艦本)

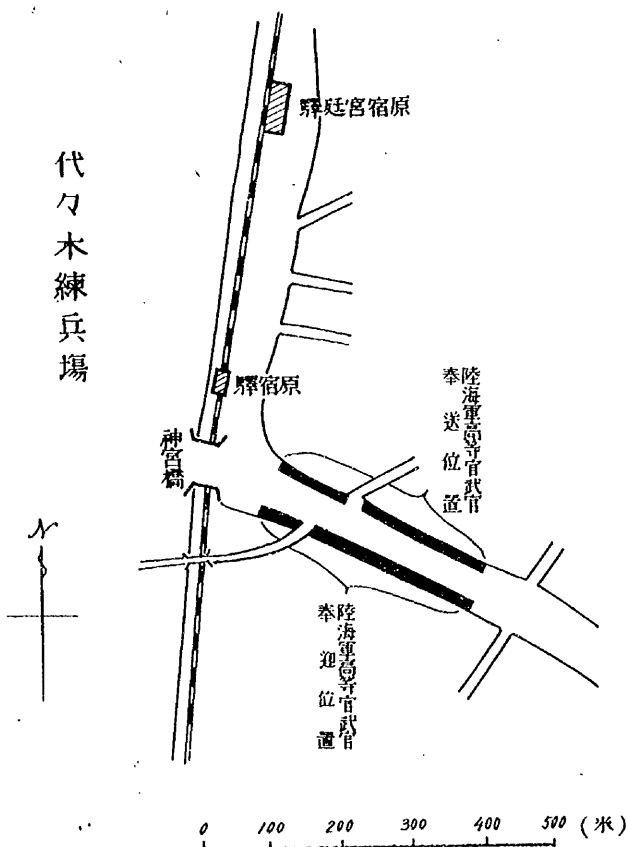
品川驛	新橋驛	東京驛	長門	陸奥
同附長門 接伴掛 榛名	同附長門 接伴掛 榛名	同附長門 接伴掛 榛名	同上	同上
海軍大尉北浦豊男(軍令)	海軍少佐木村仁(教育)	海軍少佐白石萬隆(艦本) 海軍機關少佐吉村誠一郎(空本)	海軍中佐桑折英三郎(軍務) 海軍大尉三好恒(同) (外ニ長門士官四)	海軍中佐高木資雄(人事) 海軍機關少佐多田力三(艦本) (外ニ陸奥士官六)
同筆海軍屬生大竹重男(同) 川崎孝雄(軍令)	同筆海軍書記生金谷眞音(同) 岩村平八郎(軍務)	同筆海軍屬生福原忠久(軍務) 西常治(軍令)	同筆海軍錄事生小川謹吾(法務) 小介久治郎(軍務) 松井密次(軍務)	同筆海軍屬生川崎宗一(經理) 田中徳五郎(艦本) 小川良爾(同) 村瀬忠四郎(人事) 岡田保(艦本) 藤井新一(同)

能登呂	間宮	海岸驛	櫻木町驛	横濱驛	大森驛
同上	同上	長門	接伴掛 榛名 同附長門	接伴掛 榛名 同附長門	接伴掛 榛名 同附長門
同右	乘組准士官以上及下士官兵若干名	海軍少佐 榎本隆一郎 (軍需)	海軍少佐 若林清作 (軍務)	海軍少佐 横山一郎 (横鎮)	海軍少佐 柿本權一郎 (軍令)
同同筆	同同同筆	同同同筆	同同筆	同筆海軍書記	筆海軍屬士
上原圭堂(同)	須賀岩吉(空本)	藤田小次郎(經理)	佐野彰(軍務)	山口篤美(經理)	佐藤司朗(軍令)
	大西英一(同)	鈴木主計(同)	齋藤汾(經理)	西城敏雄(經理)	若月健(軍令)
	横尾静夫(軍務)		神尾英二(軍務)		
			細井辰昭(空本)		

洲	韓	青	室	
埼	崎	島	戸	
同	同	同	同	
上	上	上	上	
同	同	同	同	
右	右	右	右	
同	同	同	同	同
筆	同	同	同	同
囁	同	同	同	同
海軍編修書記	同	同	同	同
生	同	同	同	同
託	同	同	同	同
原崎 昊(軍令)	鈴木末松(人事)	高富昌一(艦本)	山内俊一(艦本)	坂本英一(同)
長島佳雄(同)	多胡吉夫(同)	佐藤三武良(同)	久保田清(同)	岡本定雄(軍務)
菊島義辰(同)	鈴木末松(人事)	山内藤好(同)	大瀧三男三(艦本)	
後藤剛(人事)		佐藤津代(人事)	西谷正夫(軍務)	
		松浦明(同)	永田茂(經理)	
		松島實一(軍需)		

(附圖)

代々木練兵場



昭和三年十月二十七日海軍公報號外

2039

〔注意〕

大禮特別觀艦式拜觀者(間宮ノ分)乘艦場所ニ
關スル件

2040

大禮特別觀艦式拜觀券間宮ノ分乘艦場所「横濱山下公園海
軍特設棧橋」トアルハ「横濱五號岸壁」ノ誤ニ付既ニ配付セル
附圖ノ通り直接五號岸壁ニ到リ乘艦スルコトト御承知相
成度

大禮特別觀艦式事務委員

海軍公報 第五百六十九號

海軍大臣官房

昭和三年十一月二十八日(水)

○通牒

大禮特觀第六七號

昭和三年十一月二十八日

大禮特別觀艦式事務委員長

關係各部御中

大禮特別觀艦式式場圖改正ノ件

疊ニ配布ノ大禮特別觀艦式式場圖中左ノ通改正ス

記

第一番外列G錨地伊國軍艦「リビア」ノ將旗ヲ削除ス

大禮特觀第六八號

大禮特別觀艦式參列外國軍艦無線通信時間配當表(目

本中央標準時ニ據ル)左記ノ通定メラレ候

昭和三年十一月二十八日

大禮特別觀艦式事務委員長

記

米 午後四時 午後十時 午前三時ノ每三分ヨリ三分間

英	午後五時	午後二時	午前四時
佛	午後六時	午前零時	午前五時
伊	午後七時	午前一時	午前六時
關	午後八時	午前二時	午前七時

但シ右ハ發信時間ヲ示シ受信ハ隨時

○辭令

海軍少佐 德 永 榮

恩賜研學資金受賞者銓衡委員ヲ命ス

同 一瀬 信一

海軍學生銓衡委員ヲ命ス

恩賜研學資金受賞者銓衡委員ヲ命ス(以上計七名海軍

省)

東京地方裁判所所屬辯護士 田島 清太

海軍軍法會議法第八十八條ニ依リ指定ス(計六名海軍

大臣)

海軍公報 第五百六十九號 昭和三年十一月二十八日

二三六三

2041

○ 雜 款

○赴任

佛國在勤帝國大使館附武官海軍中佐三浦省三八來十二月五日午前九時三十分東京驛發、同八日門司出港ノ汽船加茂丸ニテ赴任ノ豫定

○學生着任期日

今般任命相成ベキ本校各種學生ハ左記ノ通始業式舉行可致ニ付各前日迄ニ着任セシメラレ度

記

機關學生 十二月八日

乙種學生 十二月十七日

(海軍潜水學校)

豫備役海軍主計大佐正五位勳四等藤田直一本月二十日廣島縣安佐郡三篠町新庄七軒家二一八四ニ於テ卒去セリ

○艦船所在

▲印ハハハホノ
指定ヲ要セズ

○十一月二十八日午前十時調

【横須賀】

筑摩▲、日進▲、阿蘇、磐手、北上、加賀▲、
木曾、榛名、五十鈴、八雲、出雲、
長門、陸奥、扶桑、日向、球磨、韓崎、
常磐、淀、山城、勝力、天龍、迅鯨、
名取、長鯨、赤城、鳳翔、駒橋、
神風、野風、沼風、波風、朝風、春風、
松風、旗風、杉、松、柏、榊、灘風、
汐風、島風、夕風、桂、楓、桐、櫻、
橘、樺、磯波、梨、竹、樅、榎、吳竹、
若竹、早苗、早蕨、藤、萩、薄、葛、
芙蓉、朝顔、夕顔、萱、梅、柿、楡、
栗、梅、楠、水無月、皐月、文月、
長月、菊月、三日月、望月、夕月、
朝風、追風、疾風、夕風、如月、睦月、
彌生、卯月、沖風、澤風、峯風、矢風、
波一、波二、波九、波一〇、波一一、
波一二、波一三、波二二、波二〇、
波二一、波五七、波五八、波五九、
波三三、波三一、波三三、波三〇、
波三九、波三二、波六二、波六一、
波六〇、波五六、波五四、波五五、
波一八、波一七、波一九、波二五、
波六八、波六三、波六四、波六六、
波六五、波六七、波二二、波一、波三、

伊五二、伊五一、伊五五、伊五三、

伊五四、呂五三、呂五一

掃一、掃二、掃三、掃四

富士、松江、大泊、鳴戸、膠州、大和、
青島、神威、高崎、洲崎、朝日、早鞆、
鶴見、間宮、能登呂

(妙高)

芝浦 呂二七、呂二六、呂二八

【神奈川】 草、菱、董

掃一〇、掃一一、掃一二、掃八、掃七、掃九

【横濱】 春日、由良、長良

蓼、蓮、濱風、時津風、天津風、
磯風

(白雪)

【根岸灣】 東雲、薄雲、白雲

【浦賀】 深雪

【清水】 阿武隈

【二見】 大井

【鳥羽】 平戸

【吳】 霧島、伊勢

波三、波四、波五、波六、波七、波八、
波一六、波一四、波一五、波一、波五二

野島、劍崎、攝津、石廊

(伊五六)、(伊五七)

【大阪】 叢雲、(掃六)

【神戸】(星柄)、(伊二四)、(伊六一)、(伊四)

【舞鶴】(和雪)

【佐世保】若宮、龍田、夕張
▽大刀風、羽風、秋風、帆風、浦風、桑

呂二、呂三、呂四、呂三、呂三、呂四、呂五、呂三、伊六三

敷島▲、襟裳▲、佐多、知床

【長崎】(羽黒)

【旅順】(樺、楨)

【青島】▽對馬

【上海】▽矢矧、鳥羽、保津

【鎮江】伏見、安宅

【南京】桃

【燕湖】▽楸

【九江】▽蟻峨

【大冶】▽柳根

【漢口】▽利根

【長沙】▽隅田

【沙市】▽勢多

【宜昌】▽比良

【重慶】▽堅田

【福州】▽江風、菊

【廈門】▽葵

【汕頭】▽谷風

【廣東】宇治

【航海中】

尻矢 (一日「サンビド」發 | 徳山へ)

淺間、▽海風、山風、鶯、榎 (二十六日吳發 | 横須賀へ)

川内 (二十六日佐世保發 | 横濱へ)

川金剛、比叡、▽衣笠、加古、古鷹、青葉 (二十七日大阪發 | 横須賀へ)

鬼怒 (二十七日吳發 | 東京灣へ)

那智、隱戸、室戸 (二十七日吳發 | 横須賀へ)

多摩 (二十七日多度津發 | 横濱へ)

▽那珂、神通 (二十七日名古屋發 | 横須賀へ)

吹雪、伊五八 (二十八日吳發 | 横須賀へ)

(部内限二頁、同附圖一葉)

海軍公報

第五百七十號

昭和三年十二月二十九日(木)
海軍大臣官房

○辭令

海軍主計少佐 山本丑之助
第一課勤務ヲ命ス(海軍省教育局)

○雜款

○軍艦勝力行動豫定

地名	着	發
吳	十一月二十三日	十一月二十二日
界	十一月二十八日	十一月二十六日
横須賀	十二月一日	十二月一日
横濱	十二月八日	十二月五日
吳		

○第二十五驅逐隊(梨、樞、樅、竹)行動豫定

地名	着	發
新舞鶴	十二月十八日	十二月十七日
鎮海		

○特務艦佐多行動豫定

地名	着	發
佐世保	十二月十三日	十二月三日
タヲカン	十二月十八日	十五日
セブ	十二月三十一日	二十一日
徳山	四年一月三日	四年一月二日
佐世保		

○特務艦室戸行動豫定

地名	着	發
吳	十二月十一日	十二月十日
佐世保	十二月十五日	十二月十二日
上	十二月二十日	十二月十八日
佐世保	十二月二十二日	十二月二十一日
吳		

○特務艦神威行動豫定

地名	着	發
横須賀	十二月二十九日	十二月十日
サンビドロ	四年一月十二日	四年一月二日
ホノルル		十五年
		十五日

海軍公報 第五百七十號

昭和三年十二月二十九日

二六七

2045

野島、劍崎、攝津、石廊

(伊五六)、(伊五七)

【大阪】(叢雲)、(掃六)

【神戸】(足柄)、(伊二四)、(伊六一)、(伊四)、(伊六二)

【玉】(掃五)

【舞鶴】吾妻▲

(初雪)

【佐世保】若宮、龍田、夕張

□太刀風、羽風、秋風、帆風、浦風、桑

呂二、□呂三四、呂三三、呂三、呂四、

敷島▲、襟裳▲、佐多、知床

(浦波)

【長崎】(羽黒)

【旅順】樺、椿、楨

【青島】▽對馬

【上海】▽矢矧、鳥羽、保津

【鎮江】安宅

【南京】桃

【蕪湖】□檜

【九江】嵯峨

【大治】柳

【漢口】利根

樫

【長沙】陽田

【沙市】勢多

【宜昌】比良

【重慶】堅田

【福州】菊

【廈門】葵

【汕頭】□谷風

【廣東】宇治

【パオ】滿州

【航海中】

尻矢 (一日「サンビドロ」發—徳山へ)

那智、隱戸、室戸 (二十七日吳發—横須賀へ)

平戸 (二十八日鳥羽發—横須賀へ)

伏見 (二十八日鎮江發—上海へ)

吹雪、伊五八 (二十八日吳發—横須賀へ)

江風 (二十八日馬尾發—高雄へ)

(部内限三頁)

海軍公報

第五百七十一號

昭和三年十一月三十日(金)
海軍大臣官房

○ 辭令

海軍艦政本部勤務兼造兵監督助手

海軍技手 中田 豊治

吳海軍工廠附ヲ命ス

京都府立舞鶴中學校教諭 栗屋 周祐

海軍機關學校ニ於ケル國語漢文教授囑託ヲ解ク

京都府立綾部高等女學校教諭 武田 良助

海軍機關學校ニ於ケル歴史學教授囑託ヲ解ク(以上
註明海軍省)

○ 雜款

○ 驅逐艦進水

佐世保海軍工廠ニ於テ建造ノ驅逐艦浦波本月二十九日
午前九時四十五分進水セリ

○ 潜水艦進水

三菱造船株式會社神戸造船所ニ於テ建造ノ伊號第六十

二潜水艦本月二十九日午前九時進水セリ

○ 郵便物發送先

軍艦加賀宛

十二月五日迄ニ到達見込ノモノハ
其ノ後ハ

横 須 賀

第一掃海隊(掃一、掃二、掃三、掃四)宛

十二月五日迄ニ到達見込ノモノハ
其ノ後ハ

横 須 賀

海軍公報 第五百七十一號 昭和三年十一月三十日

一二七三

2050

○ 艦船所在

▲印ハ「ハカ」ノ
指定ヲ要セズ

○十一月三十日午前十時調

【横須賀】

筑摩▲、日進▲、阿蘇、加賀▲、北上、木曾、
榛名、山城、五十鈴、八雲、出雲、球磨、
大井、淺間、鬼怒、淀、勝力、那智、平戸、
口金剛、比叡、衣笠、加古、古鷹、青葉、
▽名取、▽長鯨
▽神風、野風、沼風、波風、沖風、澤風、
峯風、矢風、灘風、汐風、島風、夕風、
朝風、春風、松風、旗風、杉、松▲、柏
榊▲、桂、楓、磯波、海風、山風、檜
榎、吹雪、梨、竹、樅、榧
波一、波二、波九、波一〇、呂一、
呂二、呂三、呂五六、呂五四、
呂五五、呂二二、呂二〇、呂二一、
呂五七、呂五八、呂五九、伊二二、
伊二一、伊二三、呂五三、呂五一、
呂三〇、呂二九、呂三二、呂六二、
呂六一、呂六〇、呂二五、伊五八、
伊二、伊一、伊三、伊五二、伊五一、
伊五五、伊五三、伊五四
掃一、掃二、掃三、掃四
富士、松江、大泊、鳴戸、青島、神威、

【神奈川】

▽葦、菱、董

【横濱】

掃一〇、掃一一、掃一二、掃八、掃七、掃九、
春日、磐手、多摩、韓崎、常磐、由良、
長良、川内、駒橋、長門、陸奥、扶桑、
日向、那珂、神通、阿武隈、天龍、
▽迅鯨、▽赤城、鳳翔
▽濱風、時津風、天津風、磯風、蓼、蓮、
▽吳竹、若竹、早苗、早嶽、▽藤、萩、
薄、葛、芙蓉、朝顔、夕顔、刈萱、
▽梅、柿、楡、栗、水無月、卓月、文月、
長月、▽菊月、三月月、望月、夕月、
▽朝風、追風、疾風、夕風、如月、陰月、
彌生、卯月、梅、桐、櫻、橘、樺
呂二七、呂二六、呂二八、呂一八、
呂一七、呂一九、呂六八、呂六三、
呂六四、呂六六、呂六五、呂六七
鶴見
(白雪)
【根岸灣】東雲、薄雲、白雲
【浦賀】(深雪)
【吳】霧島▲、伊勢
波三、波四、波五、波六、波七、波八、

(妙高)

高崎、洲崎、膠州、大和、朝日、隱戸、
室戸、早鞆、間宮、能登呂

海軍公報 第五百七十二號

昭和三年十一月三十日

一二七五

2051

区 呂一六、呂一四、呂一五、呂一、呂五二

野島、劍崎、攝津、石廊

(伊五六)、(伊五七)

【大阪】(叢雲)、(掃六)

【神戸】(足柄)、(伊二四)、(伊六一)、(伊四)、(伊六二)

【玉】(掃五)

【舞鶴】(初雪) 吾妻▲

【佐世保】(若宮、龍田、夕張)

区 太刀風、羽風、秋風、帆風、浦風、桑

呂二、呂三、呂四、呂三三、呂三、呂四、呂五、呂三一、伊六三

敷島▲、襟裳▲、佐多、知床

【長崎】(羽黒)

【高雄】(江風)

【旅順】(樺、椿、楨)

【青島】(對馬)

【上海】(矢矧、烏羽、保津、伏見)

【鎮江】(安宅)

【南京】(桃)

【燕湖】(檜)

【九江】(嵯峨)

【大湊】(柳)

【漢口】(利根)

【長沙】(隅田)

【沙市】(勢多)

【宜昌】(比良)

【重慶】(堅田)

【福州】(菊)

【廈門】(葵)

【汕頭】(谷風)

【廣東】(宇治)

【巴拉オ】(滿州)

【航海中】(尻矢)

(一日「サンピドロ」發—徳山へ)

(部内限一頁)